

わがまちづくり 交付団体の 活動を紹介します

町では、自由な発想のもとで住民自ら考え、自発的に地域活性化に取り組み団体や自治会等に対して、その活動を支援する「岩美町わがまちづくり交付金」の制度を平成16年から設けています。

今回は、誇れる郷土づくりを目指して活動を行う、輝く大岩をつくろう実行委員会の皆さんをご紹介します。

ヤッター!! 地域力の結集
ほこれる郷土づくり

輝く大岩をつくろう

実行委員会

大岩地区は、古くから但馬往来の要として、先人達の苦勞により築かれた多くの歴史的な名所・旧跡・民話等が数多くあります。

更には、偉大な政治家や実業家・俳人・画家・民俗学者等多才な人物が輩出され、その素晴らしい功績は、現在も私達の心に生き続け、この地で暮らしていることをほこりに思っています。

この思いを子ども達に伝えて行くことによ



り、自分の生まれ育った故郷のことをよく知り、郷土を育み、ほこりを持って更に次世代に継承してほしいとの願いから「ほこれる郷土づくり」をめざして、歴史講演会、偉人講演会、歴史探訪ウォーク、民話のミュージカル、民話の紙芝居制作（小学生と共同制作）「ふるさと再発見」と題した小冊子、マップの制作にも取り組まれました。

そこで今回は、ミュージカル「駟馳山峠の石だたみ道」について述べたいと思います。

脚本・作詞・振り付け 実行委員会

作曲 石谷ゆかり

出演者 総勢60人余り

（舞台上演者、台詞朗読者、合唱隊）

ミュージカルといっても、前述のように役割分担をし、手軽で簡単に取り組めるようにしましたが、実際やってみると、各々のパートのタイミング合わせには、苦勞しました。

練習といっても、毎月開催する合唱教室の終了後30分程度で、全員揃っての練習は、発表会前にと一回位なものです。

しかし、小学1・2年生を含む出演者のやる気と、本番に強いメンバーに加え、最良の指導者に恵まれて、発表会の舞台では、全員が楽しそうに笑顔で、普段の練習以上のものを

演じる姿にうっとりし、終わってもその余韻は続き、その場を離れるのが勿体ない位でしたし、出演者、スタッフ全員成功感を味わい、手を取り合って喜びました。

このような大事業が出来る大きなパワーは、実行委員会の団結による企画・運営。地域住民の連携による惜しみない人、物、やさしさ、思いやりのある励ましのことば。自治会や公民館による理解

ある資金援助と、発表の場の設定。小学校の学習発表会への発表の機会の提供と、思いもかけなかった舞台照明の提供等、地域全体に支えられて出来る活動であり、皆さんの協力に感謝の念でいっぱいです。

